

報道各位

- 様々な土地のアーティストが福島に滞在し創作するアートイベント！ -
ジャーナニヤルアート企画 ジャー！プロジェクト Vol.1

『こおりやま アーティスト・イン・レジデンス』

<10月中旬～11月6日、国指定重要文化財 旧福島県尋常中学校本館（安積歴史博物館）にて開催>

任意団体ジャーナニヤルアート企画（2015年発足/代表・宮内理）では2016年10月中旬から福島県郡山市にある国指定重要文化財 旧福島県尋常中学校本館（安積歴史博物館）にて、郡山市内初となるアーティスト・イン・レジデンス・プログラム（※注）『こおりやま アーティスト・イン・レジデンス（略称：こおりやま AIR）』を実施し、その成果発表となる展覧会・関連イベントを11月3日（祝・木）～6日（日）に開催いたします。

ともすれば、“難しい”“わかりづらい”と捉えられがちなアートの世界。「ジャー！プロジェクト」は、自身もインスタレーション・アーティストである代表・宮内が、「もっとアートのハードルを下げて誰もが親しめるものへと間口を広げたい。アートにより地域に笑いや喜びを生み出したい。アートと様々なジャンルによるコラボレーションを創り出し、楽しいだけでなく地域についての考えを深め文化に触れる機会を作り出したい」という理念の元に立ち上げたプロジェクトです。

その第一弾イベントを、メンバーの一人の故郷でもある福島県郡山市で開催します。東日本大震災から5年、未だ複雑な状況を抱える福島県。県外から来たアーティストが福島という地に滞在し、自分の眼で見て、足で歩き、五感で感じた事を、作品を通じて表現していきます。その制作過程を県内外の人々が見守り、共に参加することにより、誰もが福島という地域の価値、自分および他者の視点、さらにアートの可能性に目を向けるきっかけとなることを期待します。

（※注）アーティスト・イン・レジデンス（略称 AIR）とは…

各種芸術活動を行うアーティストを一定期間招聘し、その土地に滞在させながら作品制作を行ってもらうプロジェクト。県外アーティストが新鮮な目でその土地ならではのインスピレーションをもとに制作する。地域活性化の取り組みの一つとして注目されている。

<イベント概要>

■イベント名：『ジャー！プロジェクト Vol.1 こおりやま アーティスト・イン・レジデンス』

■主催：任意団体 ジャーナニヤルアート企画 共催：公益財団法人 安積歴史博物館

後援：郡山市、郡山市教育委員会、郡山市青年会議所（申請予定）

■会場：国指定重要文化財 旧福島県尋常中学校本館（安積歴史博物館）〈福島県郡山市開成5丁目25-63〉

■日程：【滞在制作期間】…期間中一部、オープンアトリエ実施

10月第3週（アーティストにより変動）～11月2日（水）

【展覧会期間】…完成作品展示・関連イベント実施

11月3日（祝・木）～6日（日）

■内容：・滞在アーティスト（予定4名）の制作過程&完成作品展示

<以下、展覧会期間中に開催予定の関連イベント>

・トークショー：開沼博（社会学者）×松本春野（絵本作家）

・音楽イベント：西船古民家バンド JAZZ 演奏

・その他、ワークショップなどを予定



国指定重要文化財 安積歴史博物館（会場）

■入場料：（安積歴史博物館入場料含む・税込）

【滞在制作期間】一般 300円 高校・大学生 200円 小中学生 100円

団体（20名以上）一般 240円 高校・大学生 160円 小中学生 80円

※障害者手帳所持及び付き添い者1名 無料

【展覧会期間】一般 1,000円 高校以下 200円 小中学生 100円

■詳細：公式 HP <http://journaliyal.weebly.com/>

●お問い合わせ：任意団体ジャーナニヤルアート企画（担当：宮内） e-mail: journaniyal@gmail.com

【ゲストプロフィール】

◇開沼博（社会学者・福島大学特認研究員）

福島県いわき市出身。東京電力福島第一原子力発電所をめぐる地域開発について論じた修士論文が東日本大震災と福島第一原子力発電所事故の発生に伴い脚光を浴び、同論文は改訂増補を加え『「フクシマ」論 原子カムラはなぜ生まれたのか』のタイトルで青土社より出版、第65回毎日出版文化賞（人文・社会部門）及び第32回エネルギーフォーラム賞特別賞を受賞。



◇松本春野（絵本作家・イラストレーター）

東京都出身。水彩画を主に、人々の日常を心温まるタッチで描く。東日本大震災後、福島県を取材し、絵本『ふくしまからきた子』『ふくしまからきた子 そつぎょう』（岩崎書店）を出版。その他にも絵本の著書多数。Eテレ『モタさんの“言葉”』の作画や、『熱風』（スタジオジブリ）表紙絵、山田洋次監督作品『おとうと』の題字、映画ポスター・チラシ絵を担当するなど幅広く活躍。



◇西船古民家バンド

東京・千葉を中心に活動中のジャズバンド。主要メンバーは、
Drs: Masaru Kinoshita/Ba: Yosuke Mitsuhashi/Trp: Masahiro Nakazawa/
Sax, Fl: Emi Nakane/F. Vo: Akiko Kawamura



【国指定重要文化財 旧福島県尋常中学校本館（安積歴史博物館）】

旧福島県尋常中学校として県下の高等教育の中核となる重要な役割を担ってきた場所。明治22年に建造された鹿鳴館風の優れた建築で、昭和52年に重要文化財に指定。昭和59年より博物館として一般公開。博物館のある開成地区は、近代郡山市の発展の礎となった「安積開拓」及び「安積疏水」と深い関わりがあり、多くの史跡が残る地区である。

【ジャーナリアルアート企画とは】

代表の宮内理、郡山市出身の鏡沼葵を中心とする任意団体。“「ジャー！」まず何かやってみる。行動を起こすことから始め、想いを形にする”をモットーに「ジャー！プロジェクト」を構想。本イベントが第一弾企画。



代表・宮内と
南木曾アーティスト・イン・レジデンス

◇代表・宮内理（みやうち あや）

1982年埼玉県出身。多摩美術大学大学院美術研究科修了。動物園、博物館、廃校の校舎などの地域に密着した公共施設を中心に、主にインスタレーション作品の制作発表を行う。子ども向け絵画指導、ワークショップ講師の経験も。日本芸術院、古美術商、現代アートギャラリー勤務を経て、2015年9月に南木曾アーティスト・イン・レジデンスに参加。同年10月「ジャーナリアルアート企画」発足。

<代表よりご挨拶>

芸術作品との出逢いにより自分の考えが180度変わるような衝撃を受けたり、その奥にある作家の思想や深い感情表現を知ったり、現実世界を超えた沢山のものの見方を発見するきっかけをもらったり—そんな経験から、アートには人の心を豊かにする素晴らしい要素や可能性が秘められていると信じ、制作活動を行ってきました。一方で、アートの世界が一般に「難しい」「わかりづらい」と捉えられていること、美術館やギャラリーに足を運ぶ人はごく一部の人に限られている現状に課題を感じています。

もっとアートによって地域に笑いや喜びを生み出したい、アートのハードルを下げて間口を広げたい、楽しいだけでなく参加者全員に福島や郡山という地について考え文化に触れる機会を作り出したいと、本イベントを企画しました。そして願わくは、日本の過去・現在・未来について、アートを通じて、少しばかり立ち止まって見つめられるようなイベントにできたらと思います。

＜イベント実施＞

- イベント名： 「紙袋で世界に1つだけのお面をつくろう！」
- 日程： 2016年5月15日（日）9:30 開場 10:00 開始（12:30 終了予定）
- 会場： 国指定重要文化財 旧福島県尋常中学校本館（安積歴史博物館）
- 内容： 画家・越ちひろによる子供向けワークショップイベント
- 参加費： 無料

◇越ちひろ

長野県出身。2004年トーキョーワンダーウォール賞受賞後、東京都庁での個展を機に数々の展覧会を行いながら、2008年に活動拠点を長野に移す。HilcrhymeなどのCDジャケットや大信州酒造「みぞれりんごのうめ酒」ラベルデザイン、村上“ポンタ”秀一のドラムセットにペイントなど、絵画の可能性を幅広い世界に展開中。2012年、初のアートブック「Birthday」発売。ながの未来力大賞 under40 部門賞受賞。千曲中央病院待合室に壁画完成。2014年インド・コルカタにて壁画制作。長野駅ビルに壁画完成。3月18日～5月8日サントミュージゼ上田市立美術館で個展開催。



上記イベントには是非ご取材賜りたく、ご案内申し上げます。

下記のご返信欄にご記入の上、任意団体ジャーナルアート企画(journaniyal@gmail.com)宛にメールにてご返信ください。

『こおりやま アーティスト・イン・レジデンス』イベント
 「紙袋で世界に1つだけのお面をつくろう！」
 @国指定重要文化財 旧福島県尋常中学校本館（安積歴史博物館）
 5/15(日) 9:30 開場 10:00 開始（12:30 終了予定）
 ＜ご出欠返信用紙＞

貴社名 _____

ご部署名 _____

お役職名 _____

ご芳名 _____

ご住所 _____

お電話番号 _____

※□に✓をご記入の上、ご出席の場合、人数ほかをご記入願います。

ご出席（ご本人のみ1名・同行者あり__名）

ご同行者様 ご芳名：

ご欠席

ご多用の折恐れ入りますが、【5/10(火)まで】に、ご返信いただきますようお願い申し上げます。